

No.259



青森県理学療法士会ニュース

第29回青森県理学療法士学会からのお知らせ

第29回青森県理学療法士学会
学 会 長 山谷 光仁
準備委員長 村上三四郎

前略

前ニュースにてお知らせ致しました、第29回青森県理学療法士学会について、訂正がありますこと
をお詫び申し上げます。

学会準備を進めて参りましたところ、会場設備、交通アクセス、宿泊施設等を検討した結果、三沢
市での開催が良いとの結論に至りました。従いまして、開催会場が、十和田市文化センターから三沢
市三沢公会堂に変更となります。既に、ご準備されております会員の皆様には、申し訳ありませんが、
なにとぞ宜しく願申し上げます。

詳しくは、第29回青森県理学療法士学会のご案内をご参照下さいますようお願い申し上げます。

草々

第29回青森県理学療法士学会のご案内

第29回青森県理学療法士学会
学 会 長 山谷 光仁
準備委員長 村上三四郎

謹啓

清秋の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、第29回青森県理学療法士学会の演題募集要項についてご案内申し上げます。

本学会は、症例報告、研究発表、地域活動報告、体験発表など、会員の皆様が今年度までに行った
あらゆる活動について報告し合い、意見交換を行える場として位置づけられています。ポスター発表
も採用しておりますので、多数の応募をお待ち致しております。

また、日韓学術交流として、韓国水原物理治療士会からの演題発表、更には、協定書調印式も予定
されていますので、多数のご参加をお待ちしております。

謹白

記

会 期：平成17年3月12日（土）～13日（日）

会 場：三沢公会堂 小ホール
三沢市桜町一丁目6番35号
TEL 0176-53-8711

内 容：公開講演

演題 『歴史に学ぶ健康と障害-そして生活支援』

講師 青森県立保健大学教授 伊藤日出男先生

一般演題（口述、ポスター）

【演題募集要項】

1．応募資格

- 1) 筆頭者は青森県理学療法士会会員に限ります。
- 2) 演題は未発表のものに限ります。

2．募集期間

随時、募集を受け付けます。締め切りは、2004年1月7日（金）です。

3．応募方法

1) メールによる演題登録

- (1)メールの件名に「演題応募」と記し、メールの本文に演題名（サブタイトル）、発表者及び共同演者の氏名及び所属、希望する発表形式（口述、ポスター）を必ず明記して下さい。抄録原稿は別ファイルで作成し、メールにファイル添付して送信して下さい。
- (2)抄録原稿は、演題名（サブタイトル）、発表者及び共同演者の氏名及び所属（発表者の下にアンダーライン）キーワード、本文の順で書いてください。本文は、目的、方法、結果、考察、まとめ等の小見出しをつけて2,000字以内にまとめて下さい。
- (3)抄録原稿の送付先（メールアドレス）は「3）応募先および問い合わせ先」の通りです。
- (4)メールによる演題登録後5日以内に演題受付のメールを返信いたします。返信がない場合は、お手数でも「3）応募先および問い合わせ先」まで電話にてお問い合わせ下さい。

2) 郵送による応募

- (1)A4版用紙1枚に、演題名(サブタイトル)、発表者及び共同演者の氏名及び所属、希望する発表形式（口述、ポスター）を必ず明記して下さい。
- (2)抄録原稿は、A4版用紙1枚とし、演題名（サブタイトル）、発表者及び共同演者の氏名及び所属（発表者の下にアンダーライン）、キーワード（3個以内で各キーワード間は中点で区切ってください）。本文は目的、方法、結果、考察、まとめ等の小見出しをつけて、2,000字以内にまとめて下さい。
- (3)フロッピーディスク、CD-R、CD-RWにテキスト形式で保存し、かつ用紙にプリントしたものを同封して下さい。
- (4)抄録到着後、演題受付のはがきを郵送します。発送から10日以上経過しても受付はがきが届かない場合は、下記までお問い合わせ下さい。

3) 応募先および問い合わせ先

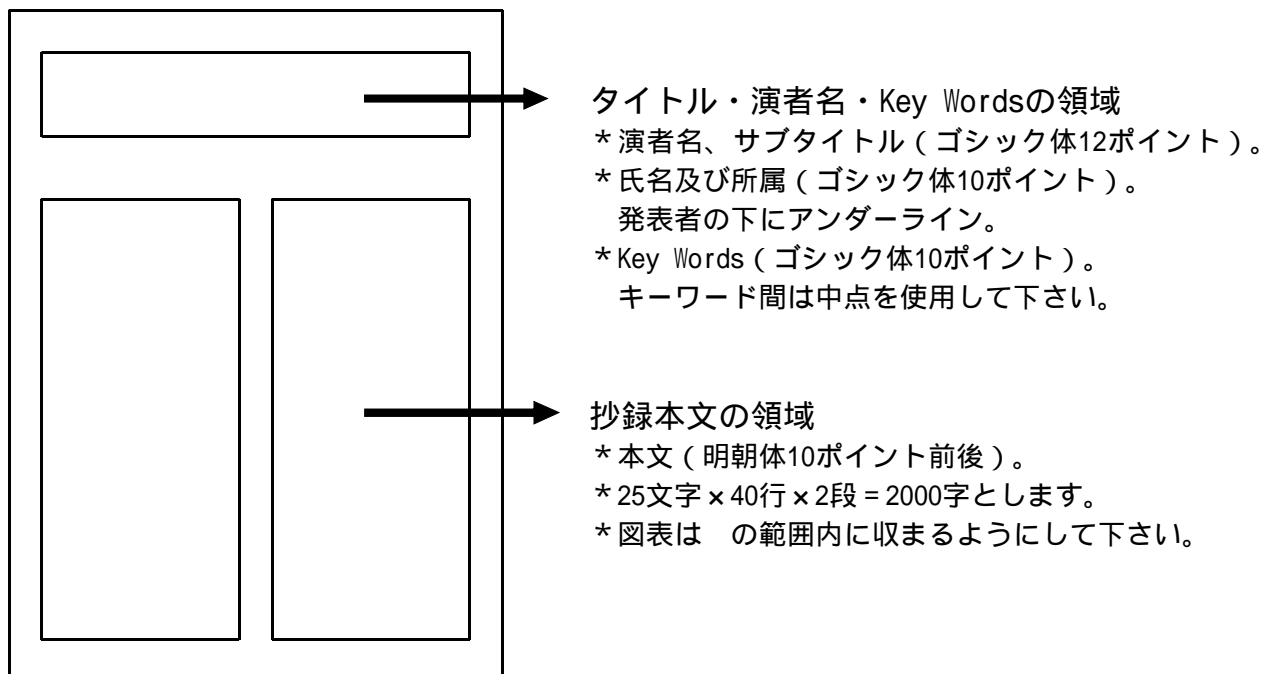
〒039-2595 七戸町影津裡 8・1
公立七戸病院 理学療法室
相坂 隆之 宛
TEL 0176-62-2105 FAX 0176-62-6964
メールアドレス：qygo1665@ybb.ne.jp

4) 抄録原稿の規格

上記の応募方法に関わらず、抄録原稿を作成する際には、下記の規格を参考にして作成して下さい。

規格を大幅に超える場合には、抄録印刷の際、はみ出した分の文字が印刷されない可能性がありますので、ご注意下さい。

【抄録原稿規格】



4. 発表形式

1) 口述発表の場合

- (1) 発表時間は10分以内とし、5分程度の質疑応答時間を設けます。
- (2) スライドの枚数は10枚以内とします。
- (3) PCプロジェクターの場合は枚数制限はありません。
- (4) パソコン（Power Point）で発表する場合、記録メディアはフロッピーディスク、CD-R、CD-RWの使用が可能です。

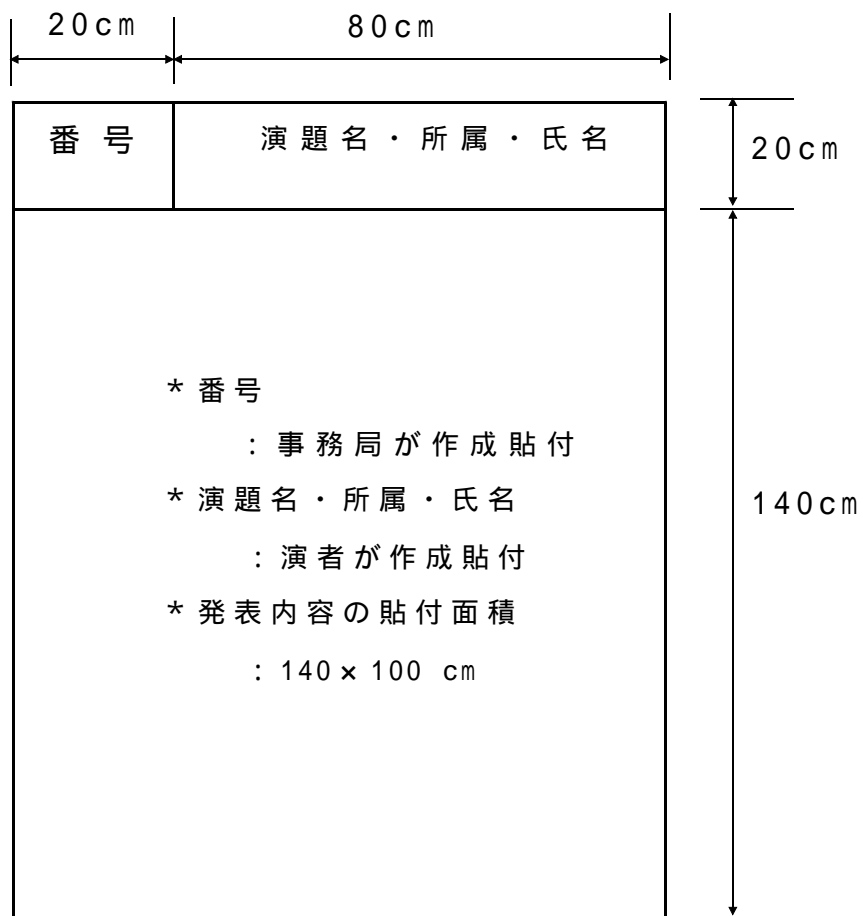
2) ポスター発表の場合

(1) 演者は指定された時間帯の間、各自のポスターの前で待機し、質疑に応じて下さい。

(2) ポスター作成要項

- ・ポスターの掲示面積は、縦160cm×100cm（図参照）です。演題番号の部分のをぞいて、演題名、所属、氏名は、縦20cm×横80cmの大きさで見やすいように各自作成して下さい。演題番号の部分は学会事務局で用意します。
- ・ポスター貼付領域（縦140cm×横100cm）をはみ出さないように注意して下さい。
- ・ポスターパネルへの貼付は各自で行ってください。貼付用画鋏は会場内に用意してあります。

【ポスター規格】



第2回青森県理学療法士会研修会に参加して

弘愛会病院 沢目 紘子

夏の暑さが残る中、今回の青森県理学療法士会研修会は五戸の東北メディカル学院で行われました。

1つ目のテーマの「人間関係」では2人1組で聞き手と話してになったり、3人1組のグループでロールプレイを行ないました。私は初対面の人と話すのがあまり得意ではありません。そのため正直いやだなと思いましたが、実際やってみると楽しかったです。私はリハビリを受けた経験はないのですが、今回患者役も経験して少しは患者さんの気持ちを知ることができました。

次のテーマの「理学療法の教育方法論」では、現在の学生の状況と実習の指導者についての話を聞きました。また学生にどのように指導していくかということグループで話し合いました。私はPTになって1年目で、まだまだ勉強不足で学生と変わりがないような気がします。学生を指導するのは大変そうだなと思い、学生時代お世話になった指導者の先生に恵まれて本当によかったなと思いました。しかし、いつの日か私も指導者になる日が来るかもしれないと思うといつまでも学生気分ではいられないと思いました。

今回の研修会は2つのテーマともグループワークを行いました。先輩PTの先生方と接する機会をもち、短い時間ではありましたが話を聞くことができ有意義な研修会となりました。

青森労災病院 工藤洋平

今回9月4日に東北メディカル学院で行われた研修会に参加してきました。コミュニケーションスキル『行動変容を生むアプローチ』、応用行動分析学からみた臨床実習教育という二つの研修を受けてきましたが、当初講義だと思っていたのでグループワークがあると聞きびっくりしました。なぜなら私は人前で意見などを発表することが大変苦手だったからです。最初に全員の自己紹介から始まり、まずは1対1で日頃の悩みや不安・不満を相手に話すというものでしたが、聞き手側からは質問ができず訴えを聞き、共感してあげるだけでした。これは思ったよりも難しく、話がとぎれたり沈黙したりするペアもみられました。私たちは患者さんと接することが当たり前ですが、本当に患者さんの訴えを聞いているのかとふと疑問になりました。私は仕事の忙しさにかこつけて話を途中で切ったりすることがありますが、聞くということはPTにとって大変重要であると改めて感じるとともに反省もしました。

次は3つのグループに分かれてそれぞれPT役、患者役、見学者を演じ、それに対するPT、患者の印象を話し合い発表するというものでしたが、他の先生方の問診の仕方を学ぶことができましたし、患者の立場に立ってPTと接するというあまり経験できないこともできたという点ではよかったと思います。私のグループでは発表者は私だったので嫌でしたが・・・。

臨床実習教育の講義では最近の学生の特徴、それに対する対策、望ましい臨床実習指導者という内容でしたが、実習指導者の立場は現在の時点では考えることが難しかったです。今は自分の技術と知識を高めていくのが精一杯であると感じました。

最後に、グループで討議し発表するという形式は大学の授業では何度かありましたが、就職してからは初めてでしたし、他の先生方と話す機会もあまりなかったので、今回の研修は大変有意義な時間を過ごせたと思っています。

ザンジバル通信第2号

弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻 若山 佐一

4月号に掲載された海外青年協力隊員（アフリカ、タンザニア・ザンジバル島）瓜田一貴さんからザンジバル通信第2号が届きました。

今回は、現地でどんな活動をしているのかを紹介しています。「マラリア」による高熱が原因の脳障害などアフリカならではのようですが、そのほかは日本と変わらないような対象です。

赴任1年を過ぎ、残りもあと10ヶ月、この中では触れていませんが、現地への適応から徐々にやりたいことなどが見えてくると同時に、思うように活動できないジレンマもでてきているようです。会員の皆さんからも、瓜田君 <uritan_0715@hotmail.com>に質問あるいは励ましなど何でも結構ですから連絡してみてください。

私の経験上も、異国の地では、生まれ故郷からの連絡はどんなことでもうれしいものでした。

クリニカルリーズニングワークショップに参加して

あおもり協立病院 工藤 寛教

去る7月31日と8月1日の両日にかけて弘前大学保健学科で開催された、クリニカルリーズニング（以下CR）ワークショップに参加してきました。私は学生の頃から参加しており今回で三回目の参加でしたが、今年はこれまでで最も暑く、受講者だけでなく講師のキャッシーや通訳の小形洋悦先生も団扇が手放せないほどでした。

今回は応用編ということでCRについての講義はほとんど無く、初日から紙上患者を用いた個人での演習と、キャッシーの専門である足部の整形疾患に対する治療の実技講習を行いました。いつもそのようなのですが、キャッシーの提示する患者は一癖も二癖もある猛者揃いのため、評価 診断 治療 予後予測までを考えるだけでかなり疲労します。翌日は受講者が各自持ち寄った症例についてグループごとに分かれて演習を行いました。中には患者さんの歩容のVTRを準備してこられた先生もおられ、その患者さんについてグループを越えてディスカッションをするなど充実した二日間でした。

私は既に3回受講しているのですが、恥ずかしながら未だにその半分も自分のものに出来ていないように感じます。なので、これからも出来るだけ継続して参加して行こうと思っています。おそらく来年の梅雨ごろになれば、次回開催要項が分かるのではないかと思います。

最後になりましたが、今回のワークショップで驚いたことを一つ。それは、初日のキャッシーによる実技講習でのことでした。

オーストラリアでは、足関節の捻挫に対してマニピュレーションを行うことで、従来の治療法よりも早く回復させることが出来る(!!)、ということでした。何故なのか？という核心に関しては、まだ推論の域を超えていないためキャッシーもうまく説明できない、とのことでした。（昨年参加された方は多分この論文のコピーを持っていると思います・・・確か私も持っているはずですが、英文なので訳していません。それでも欲しい、という方はご一報を）

監査情報について

社会局保険制度対策班 板井 英樹

=監査情報=以上の情報を頂きましたので報告します。

介護保険診療における療養型病床群の個別において

一日一人につき、4単位の算定まで可能となっておりますが、一日40分実施での2単位の報酬請求が棄却されるとのことです。

その内容としては、1単位の内容は、20分以上という設定であり、40分でも60分でも1単位に違いないという解釈が出来る点、リハビリ室と病棟でという実施場所の分け方だけでは不十分であるという点での指摘でした。

指導内容としては、個別リハの詳細を実施計画書及びケアプラン内に記録・記載されていなければならないということでした。

他の監査情報・意見等ありましたら、ご連絡よろしくをお願いします。

国民健康保険百石病院 リハビリテーション科 板井 英樹

TEL 0178-52-3111 FAX 0178-52-3110 E-mail : ex0178 @ hi-net.ne.jp

第30回青森県理学療法士会定例研修会改め 青森県理学療法士会症例検討会のご案内

学術局長 長谷川 至
研修部 佐井川 匠秀

例年開催しておりました「青森県理学療法士会定例研修会」ですが今年度はその名称を「青森県理学療法士会症例検討会」に変更し開催することとなりました。

発表者による話題提供をもとに、ディスカッション形式をとりながら大いに日頃の悩みや、経験談を語り合える場にしたいと思います。

つきましては、会員の皆様より広く演題の募集を致します。例年新人会員中心としてまいりましたが、先輩会員の皆様にも、日頃の臨床活動の成果や疑問について発表する機会として大いに活用して頂きたいと思えます。尚、本会の発表者には新人教育プログラム「症例検討」の単位、参加者には「症例検討」の単位がそれぞれ認定されます。

- 記 -

と き:平成16年12月4日(土)・5日(日)(予定)(演題数により期間短縮あり)

と ころ:弘前大学医学部保健学科

参加費:500円

申込先:(医)芙蓉会芙蓉会病院 理学療法室

佐井川 匠秀

TEL:017-738-2214 FAX:017-738-2249

E-mail:fuyo-rigaku236@fuyoukai.or.jp

締 切:平成16年10月8日(金)

発表希望者の方へ

発表内容は症例報告に限らず、日頃の業務に関する悩みなどをまとめて頂いてもかまいません。締切までの抄録の作成は不要ですが、上記期日までに発表の意志、できれば(仮)タイトルをお知らせ下さい。

第26回臨床歩行分析研究会定例会プログラム

テーマ

「歩行分析のさらなる展開をめざして」

1. 会 期 平成 16 年 11 月 14 日 (日)
2. 会 場 青森県立保健大学 講堂
〒 030-8505 青森県青森市浜館間瀬 58-1
Tel : 017-765-2000 (代表)
3. 会 長 福田道隆 (青森県立保健大学)
4. 参加費 (当日会場にて徴収いたします)
会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生 1,000 円

5. プログラム

8:30 ~ 受付開始

9:30 ~ 一般演題

11:00 ~ 特別講演

「運動制御と運動学習の脳内メカニズム」

講師 蔵田 潔先生

(弘前大学医学部医学科生理学第二講座教授)

座長 福田道隆 (青森県立保健大学)

13:00 ~ シンポジウム

「歩行分析セミナーの現場での実践応用」

座長 山本澄子 (国際医療福祉大学)

シンポジスト

医師の立場から

小原和宏 (旭川医科大学)

公設試エンジニアの立場から

宮脇和人 (秋田県工業技術センター)

企業エンジニアの立場から

刈谷健司 (住友林業)

理学療法士の立場から

櫻井愛子 (昭和大学)

義肢装具士の立場から

飯塚 尚 (東名ブレース)

基調報告者

講師の立場から

江原義弘 (新潟医療福祉大学)

ポスター展示 (セミナーでの 3 次元動作解析装置を用いた運動解析例を多数公開)

* ポスターは終日展示

14:45 ~ 一般演題

* 企業展示とデモンストレーションは終日開催

6. 事務局

〒 030-8505 青森県青森市浜館間瀬 58-1

青森県立保健大学理学療法学科内 (佐藤、前野)

Tel:017-765-2098、Fax:017-765-2099

E-mail:s_sato@auhw.ac.jp

学習会のお知らせ

日 時： 平成 15 年度 11 月 14 日(日) 午後 1 時～
場 所： 青森労災病院大会議室
テーマ： 足関節捻挫の治療と後療法
講 師： 岡村 良久(青森労災病院)
参加費： 無料(参加自由)
主 催：スポーツ部会三八ブロック
尚スポーツ部会主催の学習会のため、新人教育プログラムな
どの単位には認定されません。ご了承ください。

問合せ先

三沢市立病院 リハビリテーション科

村上 三四郎

T E L : 0176-53-2161(内線 321) F A X : 0176-52-6023

～ 理学療法士求人情報 ～

青森市民病院

求人情報：平成 1 6 年度中に青森市職員採用試験（常勤理学療法士）予定しています。

詳しくは今年度中に発表される予定です。

問合せ先：青森市民病院リハビリテーション科

理学療法士 中西功悦

TEL 0 1 7 - 7 3 4 - 2 1 7 1 (内線 5 1 2 4)

【財務部通信】

会費自動引き落とし者へ

平成 16 年度の自動引き落としが 5月27日(木)に行われました。 引き落とし不能者 と 引き落とし以外者 は下記へ振り込みをお願いします。

会費納入方法は下記の通りです。

士会費 12,000 円の振込先 振込み手数料 210 円

みちのく銀行 黒石支店 店番 024 口座番号 0117013

名義名 青森県理学療法士会 代表者 佐藤 洋

協会費 11,000 円の振込先 振込み手数料 120 円

郵便振替で 口座番号 00130-3-78642

加入者名 社団法人 日本理学療法士協会

通信欄に

記入例 平成 16 年度会費 1 名分 佐藤洋 8692 協会会員番号

と記入して下さい。払込人住所氏名は、施設名の住所氏名で結構です。

尚、領収証が必要な方は、下記へ御連絡下さい（昨年、連絡を下さった施設には入金を確認できれば送付します）。また、どうしても 6 月 15 日まで納入できない人は、自動引き落としにして下さい（振込手数料無料、公共料金と同じく忘れなくて済む）。どうぞ御協力をお願いします。

不明な点は 黒石病院リハビリテーション科

佐藤 洋

TEL 0172-52-2121(217)

【ニュース編集部通信】

今回の原稿締切は、平成16年10月21日(木曜日)です。

原稿を依頼された方、もしくは掲載記事をお持ちの方は、次頁の各支部担当にフロッピーディスク、FAX、E-mail のいずれかにて、送付して下さい。

青森県士会ホームページアドレス

<http://www.aa.alpha-net.ne.jp/ptaomori/>

§ ニュース編集部支部担当者 §

東青・むつ下北：工藤 寛教（あもり協立病院）

〒030-0852 青森市大野前田 103-2 TEL 017-762-5500 FAX017-729-3260

E-mail : kyoritsu@aomori-h-coop.com

（病院全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

三八・上十三：川口 恵理（シルバー病院）

〒039-1161 八戸市河原木字八太郎山 10-444 TEL 0178-28-4000 FAX 0178-20-4962

E-mail : ptsilver4000@yahoo.co.jp

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

中弘南黒・西北五：藤田 俊文（黎明郷リハビリテーション病院）

〒038-0194 南津軽郡碓ヶ関村碓ヶ関字湯向川添 30 TEL 0172-45-2231 FAX 0172-45-2373

E-mail : reimeipt@h7.dion.ne.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

事務局ニュース編集部長；梅村 孝博（東北メディカル学院）

〒039-1522 五戸町字苗代沢 3-6 TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034

E-mail : pt.umemura@rinken.ac.jp

編集委員；伴 久美子（黒石病院）

須藤 宗（あすなろ学園）

藤田 俊文（黎明郷リハビリテーション病院）

川口 恵理（シルバー病院）

豊嶋 大輔（八戸城北病院）

佐々木幸重（十和田東病院）

外交局広報部(HP 担当)；安田 友久（青森労災病院）

編集後記

最近朝晩と冷え込み、寒い日が続いていますが、皆さんは体調を崩してはいませんか？

秋が深まり昼夜の気温差が激しいと紅葉が楽しみな季節になってきますね。青森県在住1年目の昨秋は十和田湖や奥入瀬溪流の紅葉を見たいと楽しみにしていましたが、タイミングが合わず(遅かった)紅葉が終わってしまった山々を見ただけでした。今年こそは・・・と期待しています。

秋と言えば、「スポーツの秋」、「食欲の秋」、「芸術の秋」いろいろありますが、皆さんもおいしいご馳走を食べたり、体を動かしたり、日頃の疲れをリフレッシュし、「秋」を堪能しましょう。私事ではありますが、先日水戸への旅行して陶芸（笠間焼）を体験してきました。完成は11月の予定です。今からとても楽しみです。 (文責：佐々木)

奥付

編集；青森県理学療法士会

発行；PT 事務局・ときわ会病院リハビリテーション科内

〒038-1216

南津軽郡常盤村榊字亀田2-1

PHONE・FAX 0172-65-3698

E-mail ; ptaomori@m16.alpha-net.ne.jp